



令和6年5月15日

各 位

会 社 名 新潟交通株式会社
代表者名 代表取締役社長 星野 佳人
(コード番号 9017 東証スタンダード市場)
問合せ先 経理部長 高山 徹
(TEL. 025-246-6327)

令和6年3月期 通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

令和6年2月13日に公表いたしました令和6年3月期通期連結業績予想につきまして、本日公表の実績と比較して差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 令和6年3月期 通期連結業績予想と実績値との差異 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,100	百万円 1,400	百万円 1,000	百万円 700	円銭 182.22
実 績 値 (B)	19,417	1,682	1,315	1,064	円銭 277.21
増 減 額 (B-A)	317	282	315	364	—
差 異 率 (%)	1.7	20.2	31.6	52.1	—
(ご参考) 前期連結実績 (令和5年3月期)	17,469	1,372	971	897	233.72

2. 差異の理由

運輸事業における一般乗合バス部門の収支改善が進み、都市間高速バスが東京や仙台線を中心に利用者が増加したことや、旅行及び商品販売事業において、観光需要の回復が予想を上回ったこと等によるものです。また、需要の落ち込みが大きかった旅館業においても募集ツアーや、インバウンドの受入等による宿泊客数の増加に加えて、差し控えられていた同窓会や、企業の懇親会等の宴会の受注もあり収支が想定以上に改善したため、前回発表予想を上回りました。

以 上